



十一月の青空の下、庭に

シクラメンの花が咲いています



順子さんとの関係

クラブで順子さんにそつと「今夜いつもの寿司屋で待っているから」と伝えると順子さんはかすかにうなずいて「はい」と小さな声で答えてくれました。支店長は「おい！籠谷課長もう一軒行くぞ」と言うなりもう席を立って歩き始めていました。その夜は午前1時までクラブで接待、お客様をタクシーで送って支店長にお疲れ様でしたと別れ、私は急いで順子さんが待っているであろう寿司屋に向かいました。

「ごめん遅くなって」「うん、私もいま来たところ」と私に気を使ってくれる優しい人でした。「さあ食べようか」「二人は好きなものを握ってもらいお勘定を済まし、タクシーに乗りました。私はだまって順子さんの行き先を運転手に告げるのを聞くと聞かぬふりをして、そのまま一緒に帰ることを無言の中で順子さんに告げていました。

から順子さんに「カレンダーの丸印はなに？」と聞いたところ「何でもないので、私がい物に行く日に丸をつけているの」と少し慌て気味に答えたので、私は何をあわてているのか変化のまま気にすることなく「寝ようか」と言っていました。この印が後に大変重要なことの日であるのを知るので、その時はそんなこととは知らず、順子さんと一夜を又ともにすることに興奮している私でした。

私は今回も戸惑いを感じながら、彼女に身体を任せました。朝今日は土曜日私も休みですのでゆっくり眠り起きたのがお昼前、順子さんは先に起きて洗濯をしていました。私は布団のぬくもりの中で少しづつ目を覚まし、「今日はデパートでも行ってみる」と話しかけて起き上がっていました。「え！デパート二人で？」と順子さん「そうだよ、二人で」私は何か順子さんのために買い物をするように思っていました。

歩きはじめながら、私は真剣に順子さんとの結婚を考えていました。支店長は反対するかなあ？と思いつき歩いているの、と玄關でお袋に叱られている私でした。それから、私は出張が多くなり、1ヶ月が過ぎた頃久し振りに接待で支店長とお客さんとで南に繰り出しました。2軒めで順子さんのお店に行くことになり私は順子さんに会えるのでニヤニヤしながら支店長の跡を歩いていると「なにを、にやにやしているのだ！」と支店長のかつが飛んできました。お店に着くと2、3人のホステスを指名しその中には当然順子さんも呼ばれました。しかしホステスさんが来ても順子さんは来ませんでした。どこか他に指名があるのかなあ

思っていたところ、いつも順子さんと一緒にいるベテランのホステスさんが、「かごちゃん、ちよつとそこまで」と私を店の隅に呼び出しました。

「何どうした、順子さんはやすみ？」「実は順子さんは退店したの、そこでごちやんに順子さんから手紙を預かってるの」「えーどうして順子さんどこに行ったの？」「それが何も言わずにどこに行くとも誰にも言わずに、行き先は探さないで言うって退店したの」私は一瞬何事が起きたのか理解できずにぼかんとしていました。「とにかくこの手紙をお渡しするので読んでください」と渡された手紙、何が書いてあるのか……次いで

会員 趣味のホームページ

より

あじさい川柳

サヨナラ勝ちはしたけれど、この深手

今を見極め椿は落ちて行きま

した

言えないわみつともなくてこんなこと

ずいぶんと今を粗末にしてくださいな

洗いざしの身にふく風のやさしくて

もう逝ってもいいがそれでももうちよつと

あの声に何だか私つまれそう

藤本花枝



歌声喫茶 11月・12月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

11月 2日、16日

12月 7日、21日

楽々亭第36回 11月の予定

11月17日(金)

西京区役所洛西支所第1会議室

午前10時~12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。